



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,457	5.4	138	42.8	136	40.4	66	51.8
29年3月期第1四半期	2,596	3.0	241	3.4	228	8.0	137	9.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 67百万円 (42.8%) 29年3月期第1四半期 118百万円 (27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.62	
29年3月期第1四半期	23.81	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,962	5,230	58.4	835.91
29年3月期	9,619	5,287	55.0	845.10

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,230百万円 29年3月期 5,287百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		20.00	20.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	2.8	600	20.8	580	22.3	310	33.9	49.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,257,230 株	29年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	529 株	29年3月期	529 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,256,701 株	29年3月期1Q	5,791,101 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の緩やかな改善が続いております。しかしながら、個人消費におきましては、社会保険料の負担増加に伴う可処分所得の伸びの鈍化や物価上昇への懸念が根強く、購買の低迷が続いております。

食品業界及び外食業界におきましても、低価格志向などの生活防衛意識が強まるなかで、品質や機能性を求める選別消費の傾向が強まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、24億57百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

利益面では、売上総利益は食品事業の売上高の減少及び工場の減価償却費の増加などにより、前年同期に比べ6.3%減少し、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ0.3%増加したため、営業利益は1億38百万円（前年同期比42.8%減）、経常利益は1億36百万円（前年同期比40.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（前年同期比51.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①食品事業

今期の経営方針である「主力6アイテム（280ml）の販売強化」、「ブランド戦略継続」、「ゾーニング戦略推進」、「北部九州エリア深耕及び首都圏販売強化」のもと、売上拡大を図ってまいりました。

主力ドレッシングの「オレンジキャップ」が堅調に推移するとともに、「焙煎香りごま」が好調に推移いたしました。ドレッシング業界におきましては、各社による活発な新商品の投入や積極的な販促活動が大きく影響し、昨年発売後ヒット商品として大きく売上に貢献しました「ノンオイル 和風しょうゆ&レモン」「濃い味 和風しょうゆ&生姜」の販売が前年実績を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高が前年同期比では減少となりました。

またパスタソースにつきましては、前年パッケージデザインを一新し、売上高は前年同期と比べ増加しております。

平成29年秋の新商品としてドレッシング類と新たなカテゴリ商品の発売により、使い方、食べ方提案など商品価値を伝える営業をさらに強化して売上拡大を図ってまいります。

以上の結果、売上高は17億86百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント利益は5億54百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

## ②レストラン事業

当第1四半期連結累計期間は「既存店の活性化」、「新業態店舗のテコ入れ」、「提携事業の強化」のもと売上拡大と利益改善を図ってまいりました。旬の食材を取り入れた季節ごとのメニューとして、「春のごちそうフェア」と地元企業の食材を取り入れた「冷製パスタフェア」を実施いたしました。ディナータイムの集客策としては、店頭配布チラシ等での予約獲得に努めております。

また、特典付き会員サービス「ピエトロクラブ」につきましては、関東地区での会員獲得を強化するとともに、会員様限定サービスなどのご案内を行い、集客力の向上を図ってまいりました。

具体的には利益改善策として売上原価の低減に努め、前期比0.7%改善いたしました。今後は7月からの新メニューの投入により更なる利益の改善を図ってまいります。

以上の結果、売上高は6億29百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント損失は21百万円（前年同期は25百万円のセグメント損失）となりました。

## ③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は41百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億56百万円減少し89億62百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億58百万円、保険積立金が2億55百万円、売掛金が64百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億99百万円減少し37億32百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億11百万円、前社長の死去に伴い役員退職慰労引当金が5億91百万円それぞれ減少する一方、その他の流動負債が1億18百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し52億30百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億25百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益66百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,961	1,493,874
預け金	52,172	38,461
売掛金	1,323,322	1,258,376
商品及び製品	78,818	88,410
仕掛品	2,972	3,125
原材料及び貯蔵品	117,636	125,412
繰延税金資産	25,402	158,270
その他	120,800	104,886
貸倒引当金	△3,226	△3,116
流動資産合計	3,469,861	3,267,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,219,372	2,224,874
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	769,032	735,446
有形固定資産合計	4,994,608	4,966,523
無形固定資産	30,551	28,802
投資その他の資産		
敷金及び保証金	440,297	451,868
保険積立金	323,235	68,221
その他	382,280	200,948
貸倒引当金	△21,159	△21,144
投資その他の資産合計	1,124,653	699,893
固定資産合計	6,149,812	5,695,220
資産合計	9,619,673	8,962,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	439,857	432,541
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	193,288	183,289
未払金	390,842	440,266
未払法人税等	124,388	12,707
賞与引当金	46,081	26,430
その他	223,036	341,565
流動負債合計	2,917,494	2,936,800
固定負債		
長期借入金	445,898	399,665
役員退職慰労引当金	700,996	109,733
退職給付に係る負債	58,053	68,298
資産除去債務	68,190	85,158
その他	141,488	133,222
固定負債合計	1,414,626	796,078
負債合計	4,332,121	3,732,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,141,823	3,083,105
自己株式	△495	△495
株主資本合計	5,258,352	5,199,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,871	33,543
為替換算調整勘定	328	△3,134
その他の包括利益累計額合計	29,199	30,409
純資産合計	5,287,552	5,230,044
負債純資産合計	9,619,673	8,962,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,596,570	2,457,127
売上原価	1,005,492	965,932
売上総利益	1,591,077	1,491,194
販売費及び一般管理費	1,349,357	1,352,903
営業利益	241,720	138,291
営業外収益		
受取利息	132	153
受取配当金	113	134
貸倒引当金戻入額	883	125
その他	695	560
営業外収益合計	1,823	973
営業外費用		
支払利息	3,347	2,421
新株発行費	10,547	—
為替差損	760	16
その他	448	643
営業外費用合計	15,103	3,082
経常利益	228,440	136,183
特別利益		
受取保険金	—	170,785
特別利益合計	—	170,785
特別損失		
固定資産除却損	36	132
役員退職慰労金	—	177,366
その他	—	1,700
特別損失合計	36	179,198
税金等調整前四半期純利益	228,403	127,770
法人税、住民税及び事業税	80,078	11,500
法人税等調整額	10,421	49,853
法人税等合計	90,500	61,353
四半期純利益	137,903	66,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,903	66,416

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	137,903	66,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,820	4,672
為替換算調整勘定	△7,820	△3,462
その他の包括利益合計	△19,641	1,209
四半期包括利益	118,262	67,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,262	67,626
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸) 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,923,485	631,605	41,478	2,596,570	—	2,596,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,923,485	631,605	41,965	2,597,057	△487	2,596,570
セグメント利益 又は損失(△)	650,423	△25,371	22,540	647,593	△405,873	241,720

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は405,873千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸) 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,786,376	629,437	41,313	2,457,127	—	2,457,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,786,376	629,437	41,800	2,457,614	△487	2,457,127
セグメント利益 又は損失(△)	554,740	△21,361	21,865	555,244	△416,952	138,291

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は416,952千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。